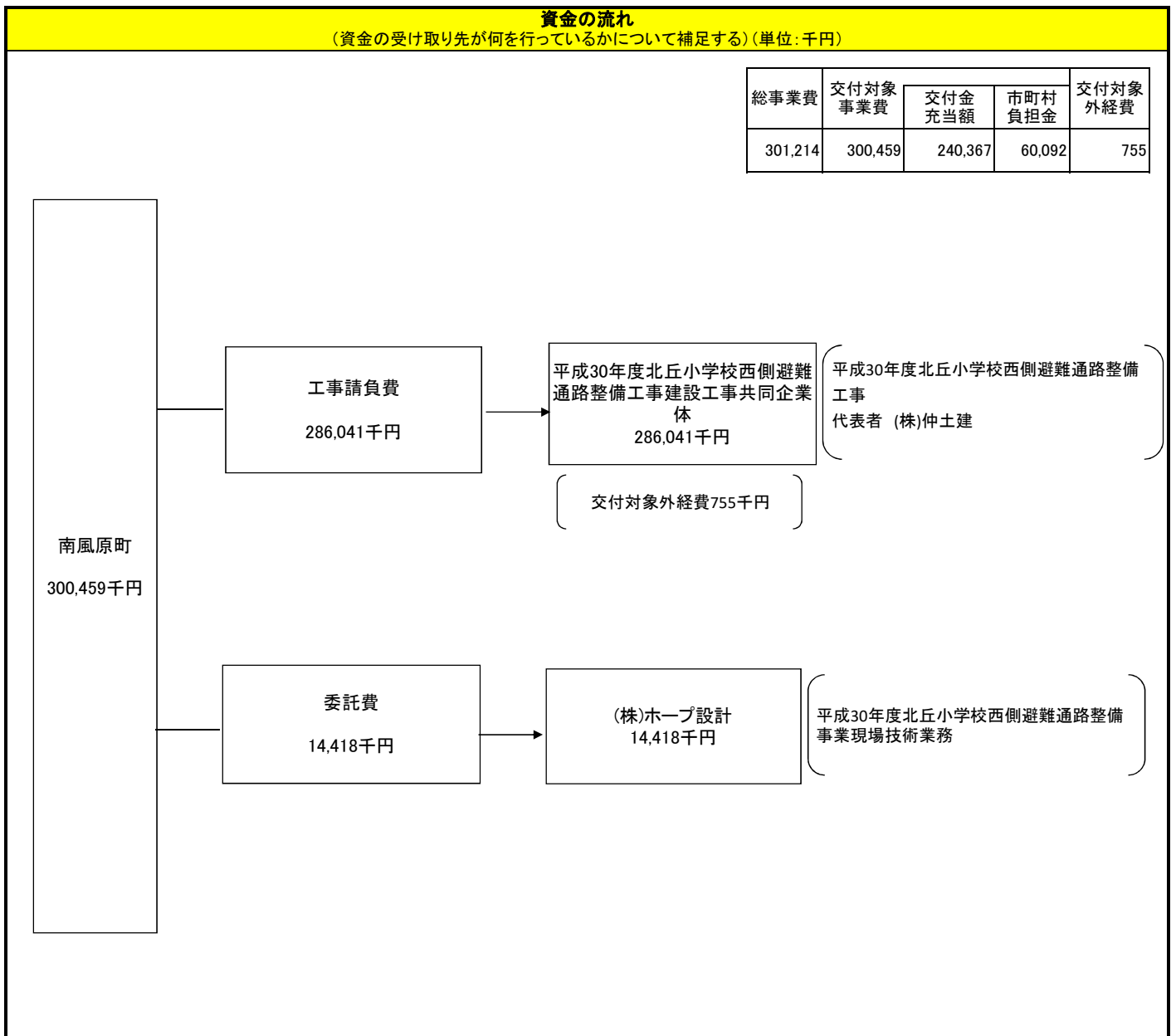


市町村名		南風原町					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 北丘小学校西側避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成26~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)
事業内容	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R2 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	175,627	349,613	-		
		(b)予算現額	170,417	300,459	-		
		(c)増減額(b-a)	▲5,210	▲49,154	-		
		(d)繰越額	-	-	131,120		
	A. 計(b+d)		170,417	300,459	131,120		
	B. 執行済額		170,413	169,339	131,120		
	うち交付金充当額		136,330	135,471	104,896		
	次年度繰越額		0	131,120	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	56.4%	100.0%		
予算の状況の説明		平成29年度は法面上部を行い、平成30年度より法面下部を整備して事業が完了した。事業費減額▲49,154千円については、入札差金によるものであり事業は適切に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	北丘小学校西側避難通路整備工事及び管理委託		目標 ( 工事の実施 )	( 工事・管理委託の実施 )	( )	( )	
			実績	工事の実施	工事・管理委託の実施		
			目標	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	平成30年度に工事を実施した斜面下部での法面対策及び避難通路の工事の一部を令和元年度に繰り越したが通路の整備を実施し事業を完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	整備工事の完了		目標	( ) ( 工事の完了 )	( 工事の完了 )	( )	( )
			実績	工事の完了	工事の完了		
	【R2成果目標】整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。		目標	( )	( )	( )	( 1回 )
			実績				
進捗状況説明	平成30年度に予定していた法面下部及び避難通路の整備が令和元年度に繰り越して完了した。なお、令和元年度末に供用開始となったことから、令和2年度に成果目標の検証を行う。						

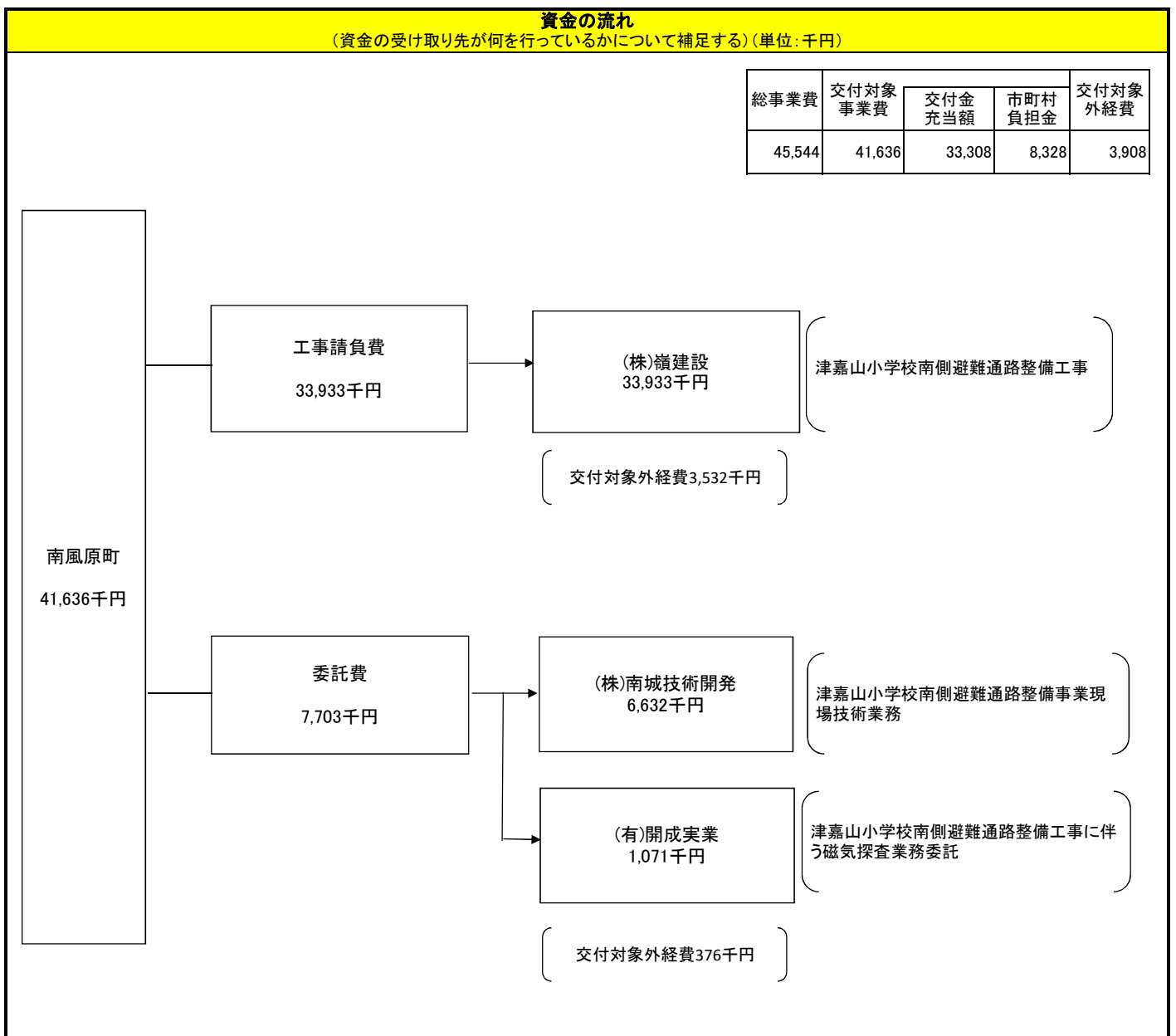
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>学校敷地内での整備となるため、授業や行事に支障のないよう事業を行う必要があり、事業完了まで複数回の工期変更が必要になった。また、工期延長の影響に伴い令和元年度中の成果目標の検証が実施できず、令和2年度に成果目標の検証を実施する必要がある。</p>	<p>令和元年度で事業は完成したが、今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>避難通路整備の整備が完了したことで、今後は、整備した避難路を利用した防災訓練等を行い、近隣住民が適切に避難できるようにする。</p>		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については指名競争入札により選定し契約を行っており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○土木工事設計要領、土木工事標準積算基準書(沖縄県土木建築部)により設計及び整備をおこなっており予算規模は事業内容に見合った適正なものと判断する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的の達成の観点から、適正であったといえる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	津嘉山小学校南側避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成26~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R2 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)
		(a)当初予算額	13,500	-		48,621	-
	(b)予算現額	25,202	-		42,791	-	
	(c)増減額(b-a)	11,702	-		▲5,830	-	
	(d)繰越額	-	23,218		-	27,840	
	A.計(b+d)	25,202	23,218		42,791	27,840	
	B.執行済額	1,919	14,619		14,952	26,684	
	うち交付金充当額	1,535	11,695		11,961	21,347	
	次年度繰越額	23,218	0		27,840	0	
	執行率(%) (B/A)	7.6%	63.0%		34.9%	95.8%	
予算の状況の説明	平成30年度より避難通路の整備工事を行い事業が完了した。事業費減額▲5,830千円については、入札差金によるものであり事業は適切に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	津嘉山小学校南側避難通路整備工事及び管理委託	目標	( 工事・管理委託の実施 )	( )	( )	( )	
		実績	工事・管理委託の実施				
		目標	( )	( )	( )		
		実績					
達成状況説明	平成30年度から工事を進めてきた避難通路は工事の一部を令和元年度に繰り越したが通路の整備を実施し事業を完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	整備工事の完了	目標	( )	( 工事の完了 )	( )	( )	( )
		実績		工事の完了			
	【R2成果目標】 整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	( 1回 )
実績							
進捗状況説明	平成30年度に予定していた整備工事を令和元年度に繰り越して完了した。なお、令和元年度に供用開始となったことから、令和2年度に成果目標の検証を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>工期延長の影響に伴い令和元年度中の成果目標の検証が実施できず、令和2年度に成果目標の検証を実施する必要がある。</p>	<p>令和元年度で事業は完成したが、今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>避難通路整備の整備が完了したことで、今後は、整備した避難路を利用した防災訓練等を行い、近隣住民が適切に避難できるようにする。</p>		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については指名競争入札により選定し契約を行っており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○土木工事設計要領、土木工事標準積算基準書(沖縄県土木建築部)により設計及び整備をおこなっており予算規模は事業内容に見合った適正なものと判断する。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的の達成の観点から、適正であったといえる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	